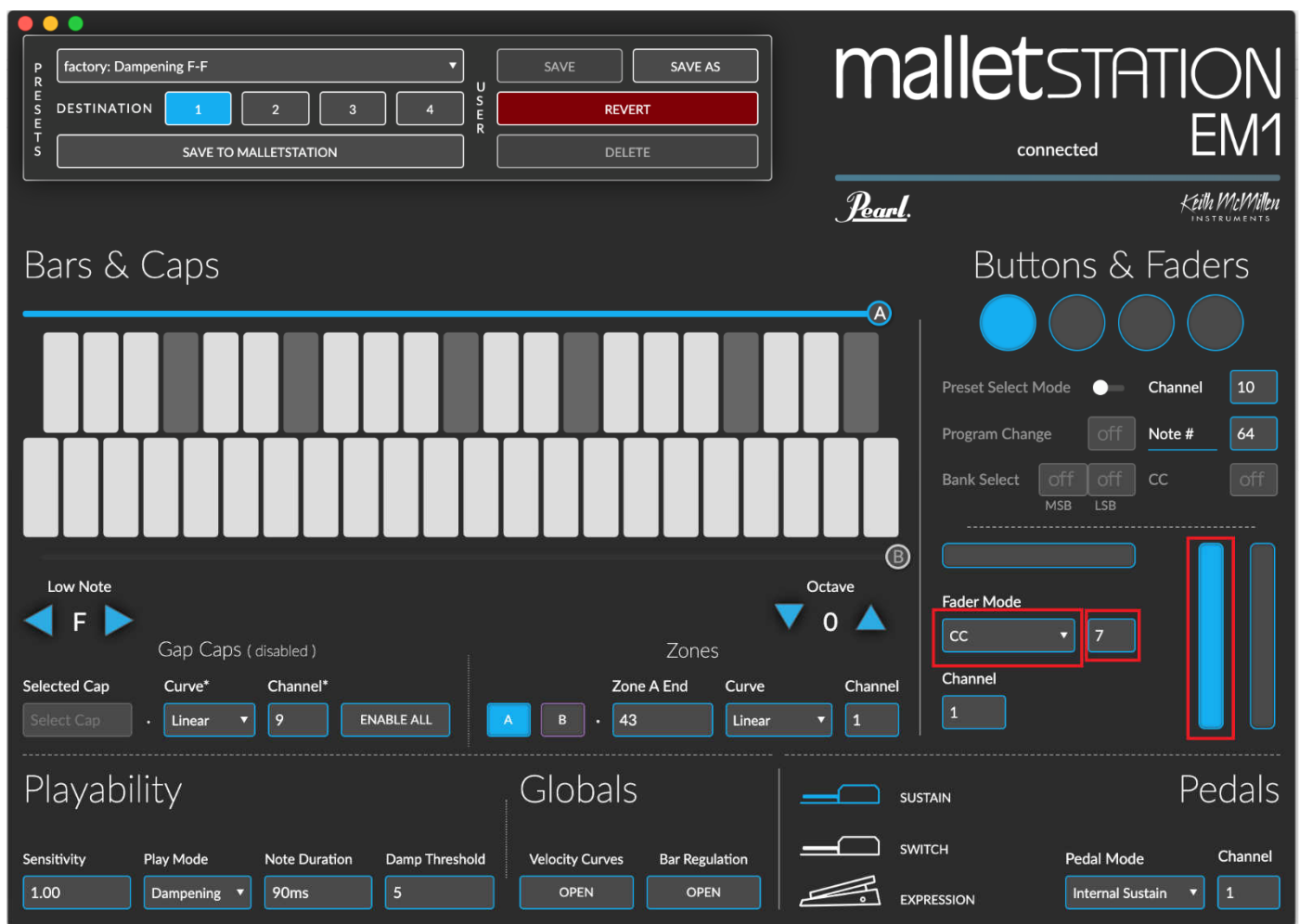


PreSonus Studio One で EM-1 の左フェーダーに Vibes w/Motor のボリューム、そして、 右フェーダーに Vibes w/Motor の LFO スピード(トレモロの速さ)を変更する方法。

malletSTATION Editor(以下 Editor)を開きます。

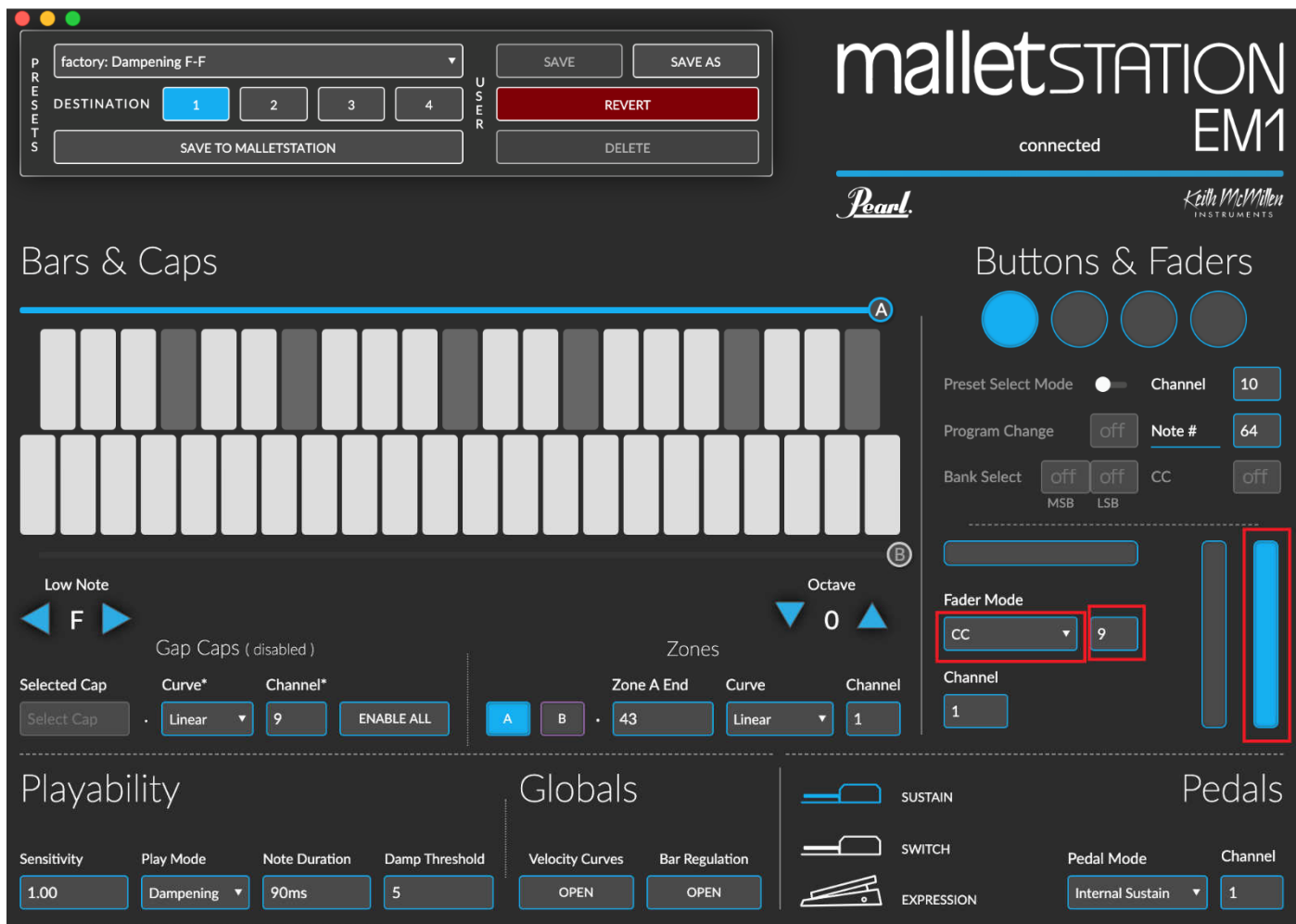
最初の状態 左上の PRESETS セクション の上のウインドウは「factory:Dampning F-F」と表示されている状態からスタート。

Editor の右下にある、縦 2 本のフェーダーのうち、左のフェーダーをクリック。左フェーダーが青く点灯した状態で
その左にある「Fader Mode」を「CC」、その右の数値を 仮で「7」に設定。(下図赤枠)



次に右のフェーダーをクリック。

その左にある「Fader Mode」を「Pitchbend」から「CC」に変更し、その右の数値を仮で「9」に設定。(下図赤枠)

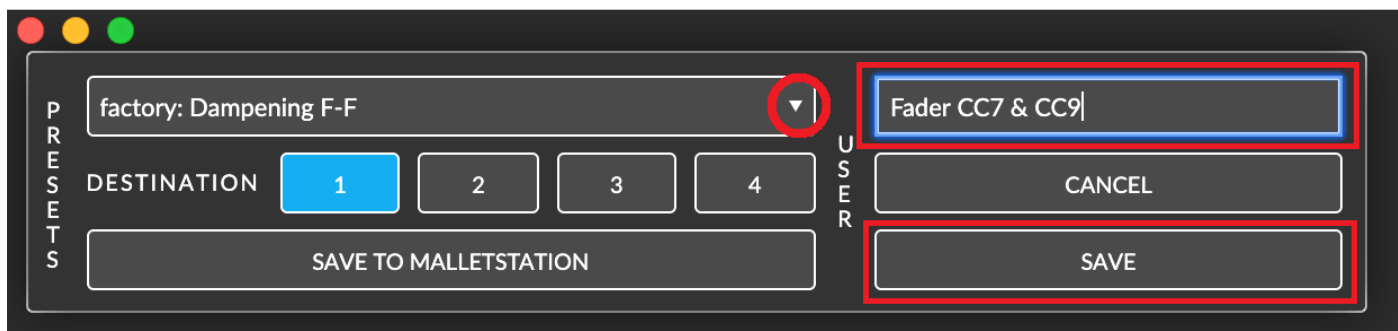


この変更した状態を Editor 内のプリセットに新しくセーブしたいので、

「USER」セクションの右上にある「SAVE AS」をクリック。



すると、プリセット名をつけるように促されるので、例えば、「Fader CC 7 & CC9」と名前を付け「SAVE」をクリック。



その後、「PRESET」 の上のウインドウ(この時「factory:Dampning F-F と表されている」)の右▼をクリック

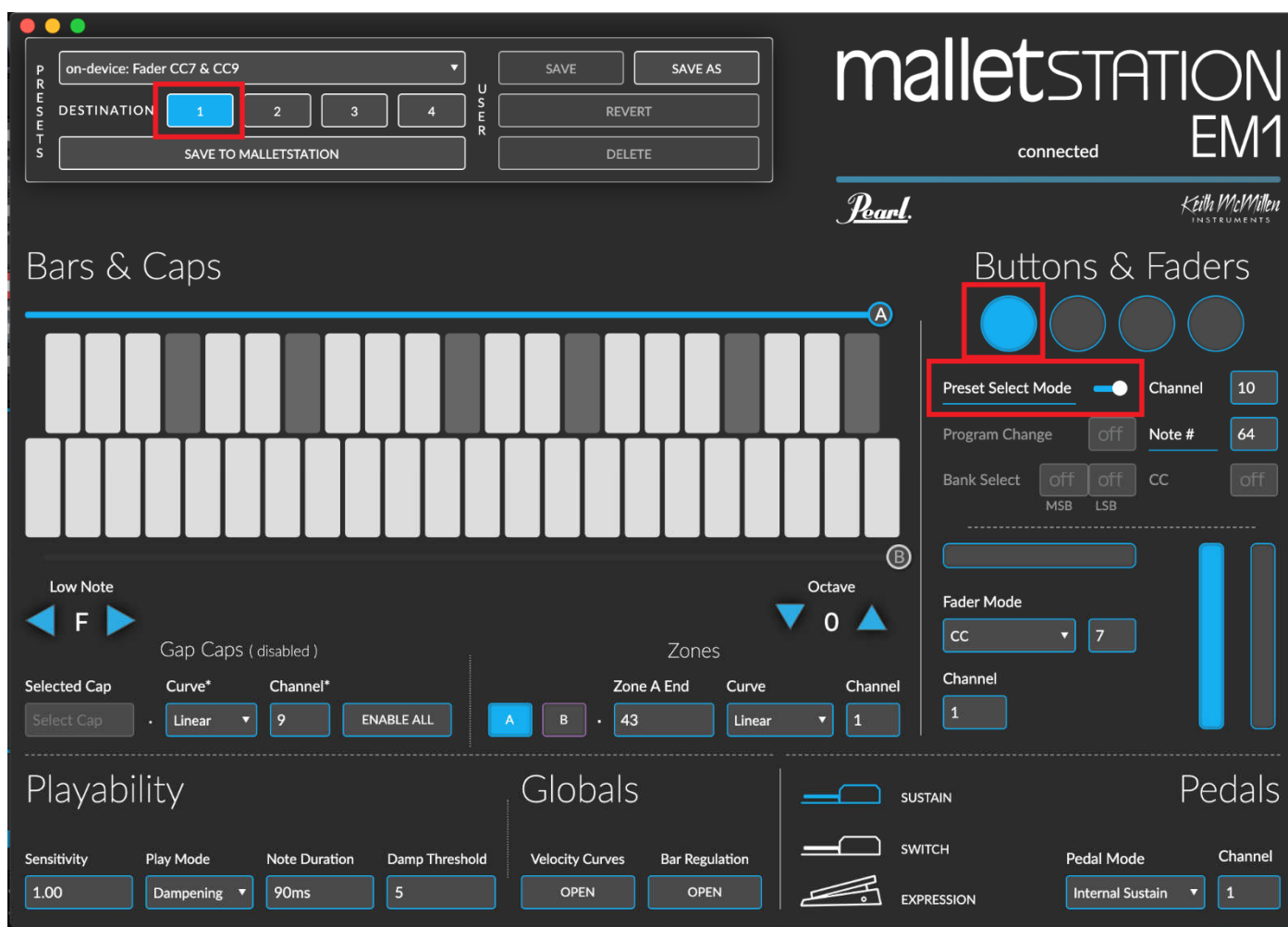
すると、先ほど USER プリセットとして作成した「Fader CC 7 & CC9」がウインドウの中に表示されるのでそれを選択。



次に、プリセット 1（一番左のボタン）に Fader CC7 & CC9 の設定を覚えさせるための設定として、

下図の赤枠内をチェックします。

「Preset Select Mode」を ON（右側にスイッチをスライド）、ボタンは一番左が選択されている状態で、



その後、その下の

DISTINATION「1」が選ばれている(青色に点灯)のを確認して、「SAVE TO MALLESTATION」 をクリック



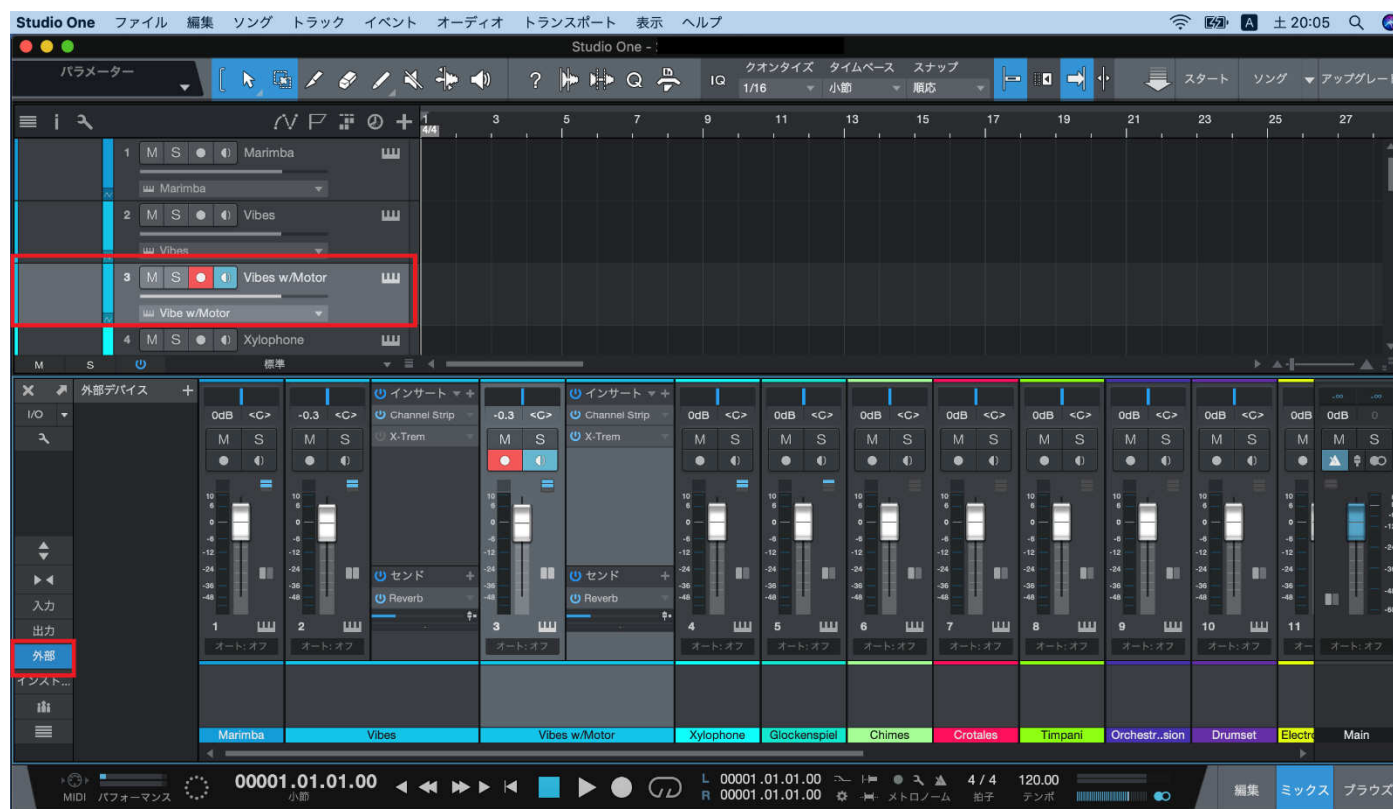
この設定で EM-1 の一番左のボタンに、左フェーダーと 右フェーダー に CC7と CC9 が設定された状態が記憶されました。

malletSTATION 側の設定は完了したので閉じる。EM-1 にはもう設定が済んでいるので Editor を終了させてもかまいません。

基本的には EM-1 の設定はこれで完了です。

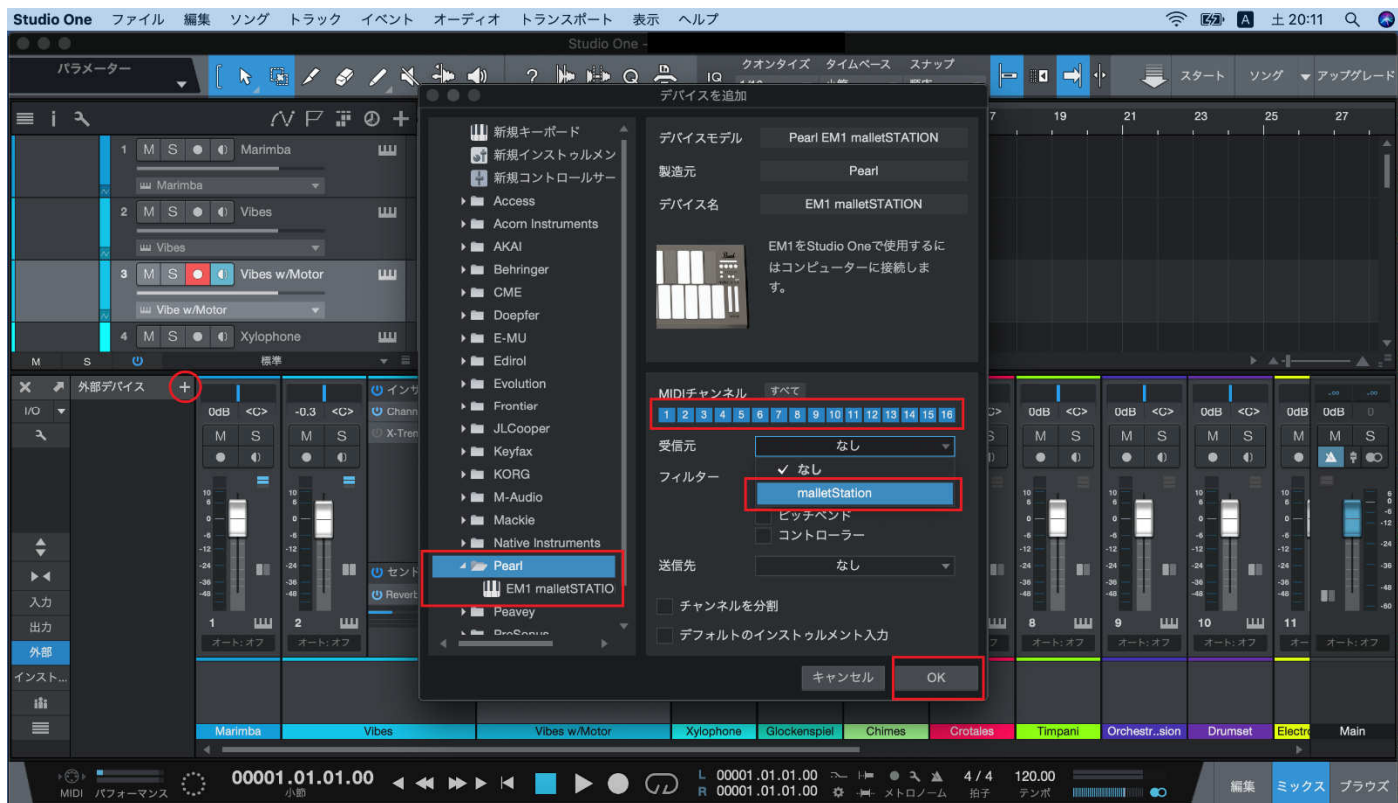
【コンピュータ側の設定です。】

Studio One を立ち上げて、「VIBE w/Motor」 の音色を選んで、画面左下にある「外部」をクリックした後、



すぐ隣の少し上の、「外部デバイス」の+ボタンをクリック

ここで、確認のため、Studio One と malletSTATION がきちんとデバイスとして認識されているかを確認します。



上図のように、

デバイスモデル 「Pearl EM1 malletSTATION」

製造元 「Pearl」

デバイス名 「EM1 malletSTATION」

MIDI チャンネル 「すべて」(1～16 が全て青色点灯)

受信元 「malletSTATION」

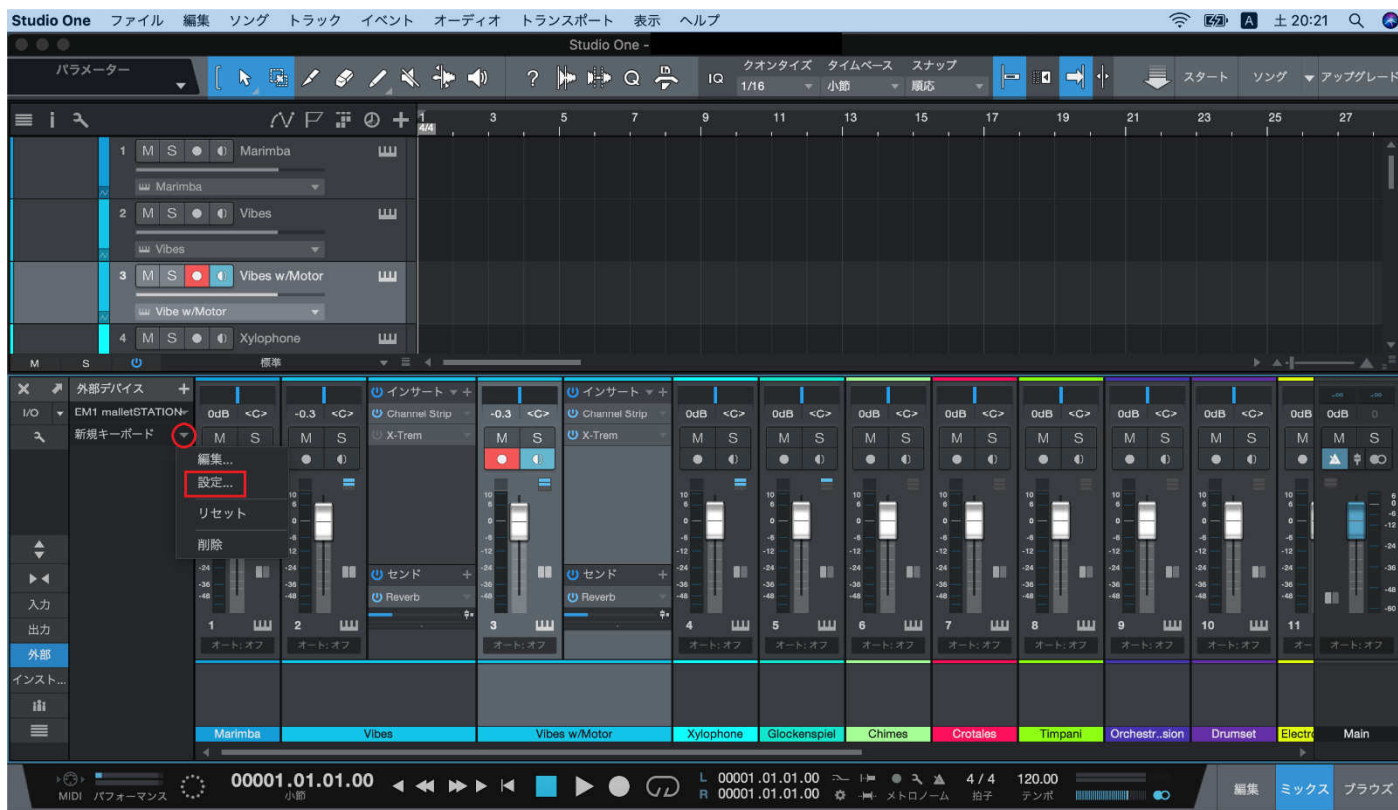
上記項目を確認後、「OK」で閉じる。

その後、Studio One で MIDI 設定を行うための設定を行います。

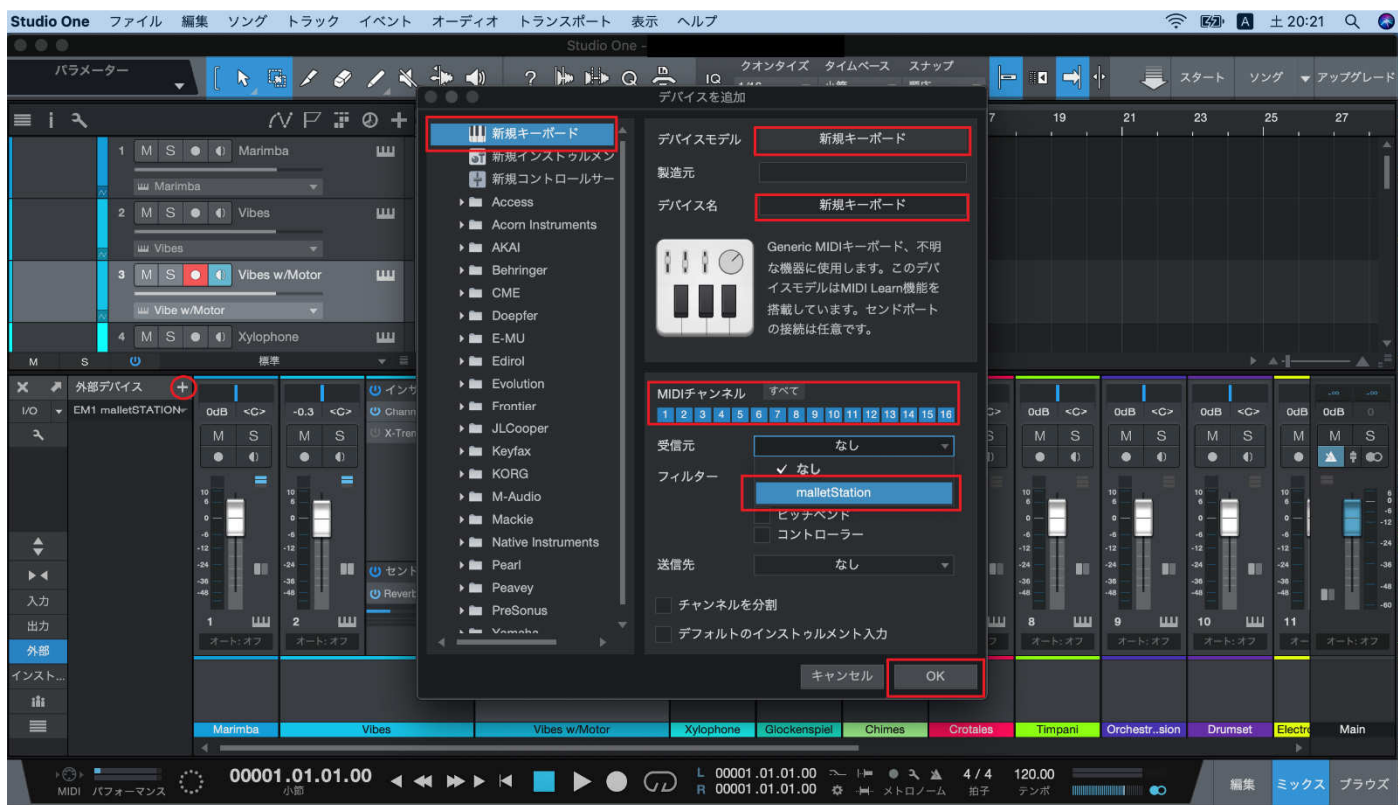
画面左下にある「外部」をクリックした後、すぐ隣の少し上の、「外部デバイス」の＋ボタンをクリック(赤丸)

メニューから「設定」を選択。

※場合によっては、このメニューが表示されずに、すぐに「デバイスを追加」ウインドウが開くことがあります。



「デバイスを追加」ウインドウが開くので、



「デバイスモデル」に左上の「新規キーボード」と

「デバイス名」が「新規キーボード」になっているのを確認し、

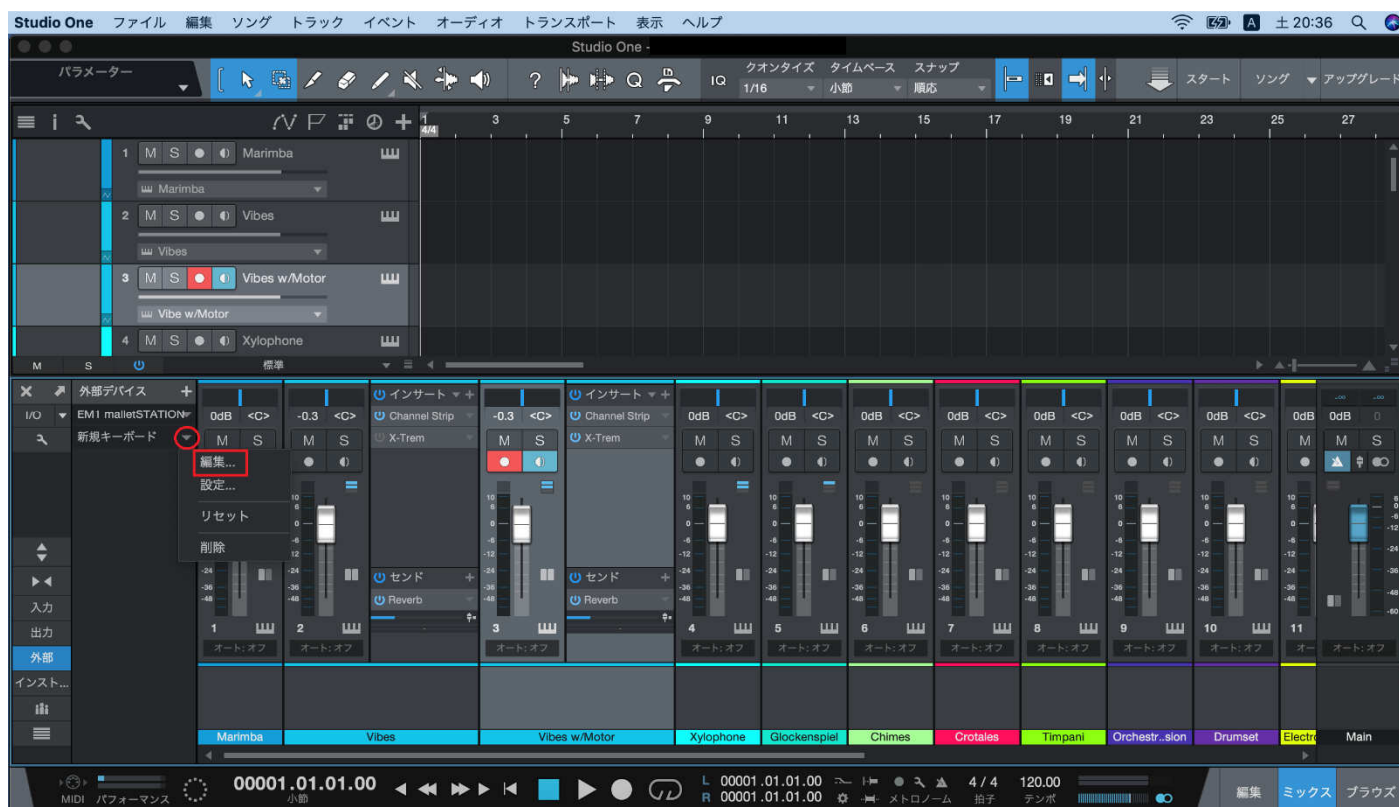
MIDI チャンネル「すべて」をクリックして 1～16 の数字を青く点灯させる。

その下の「受信元」の▼をクリックして「なし」から「malletSTATION」に変更。

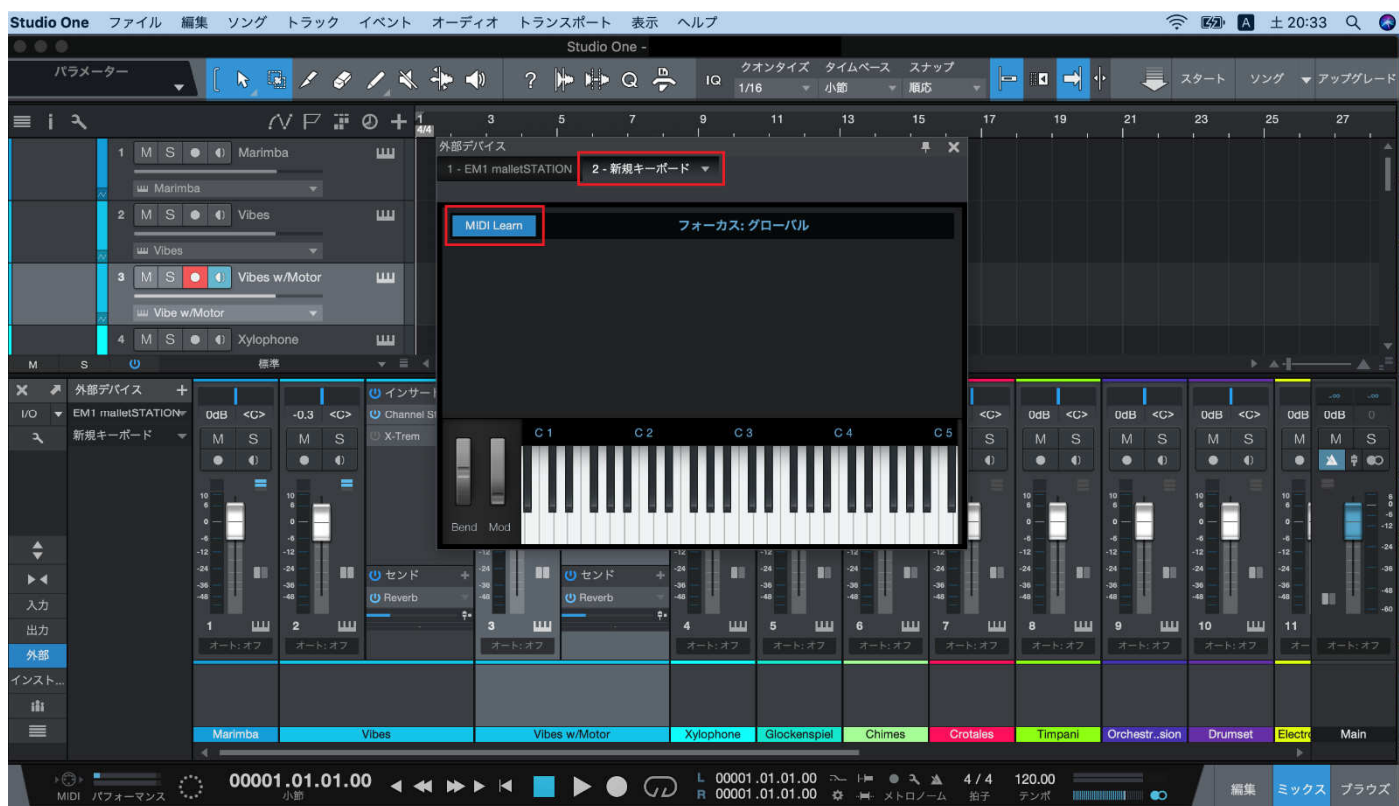
右下の「OK」をクリック。

以上で、「外部デバイス」の設定が完了です。

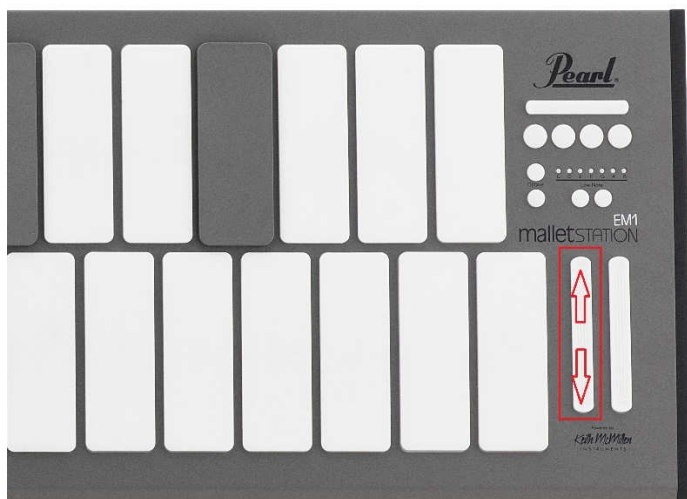
先ほどの左下の「外部デバイス」のところに「新規キーボード」が作成されているので、右▼をクリックして、「編集」を選択。



ウィンドウが開くので「MIDI Learn」をクリック（青点灯）

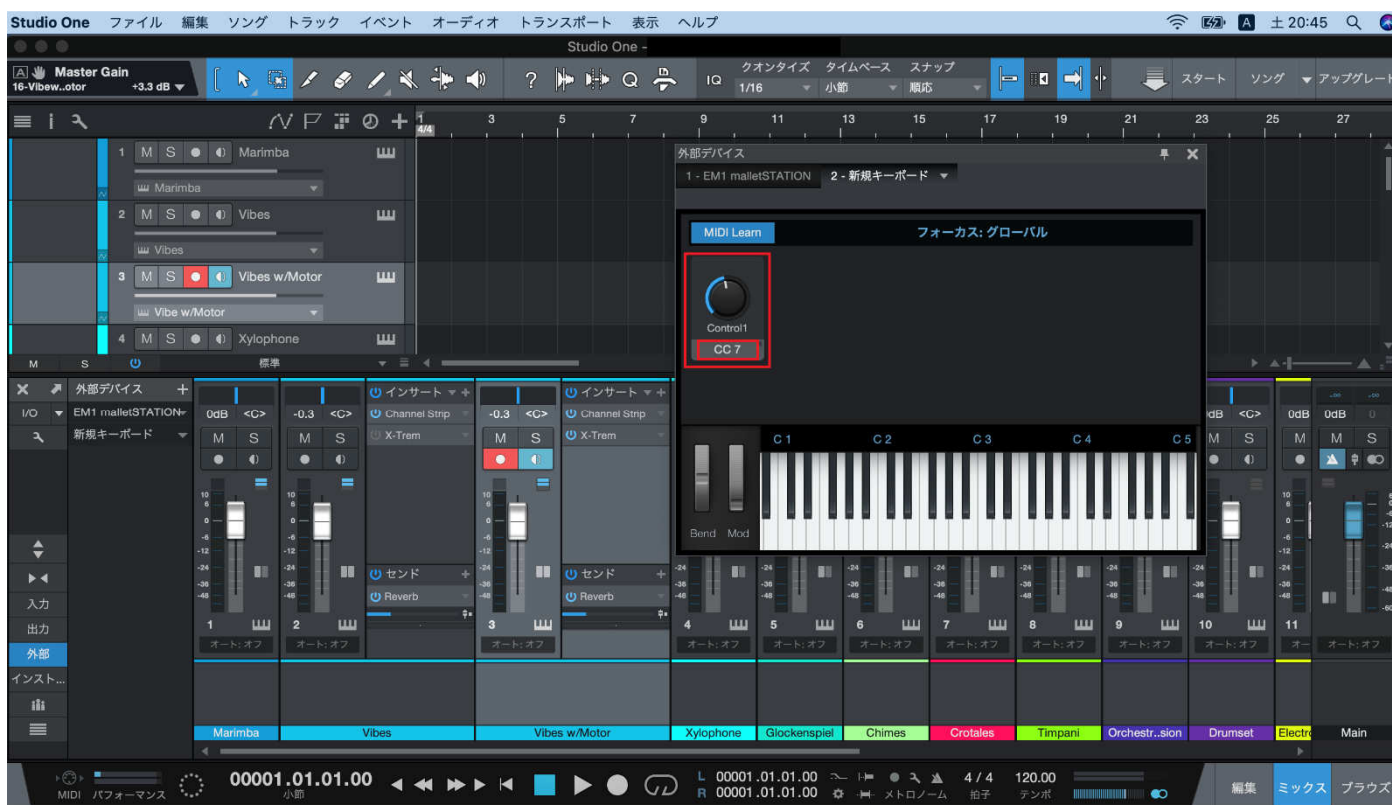


ここで EM-1 本体を少し操作します。



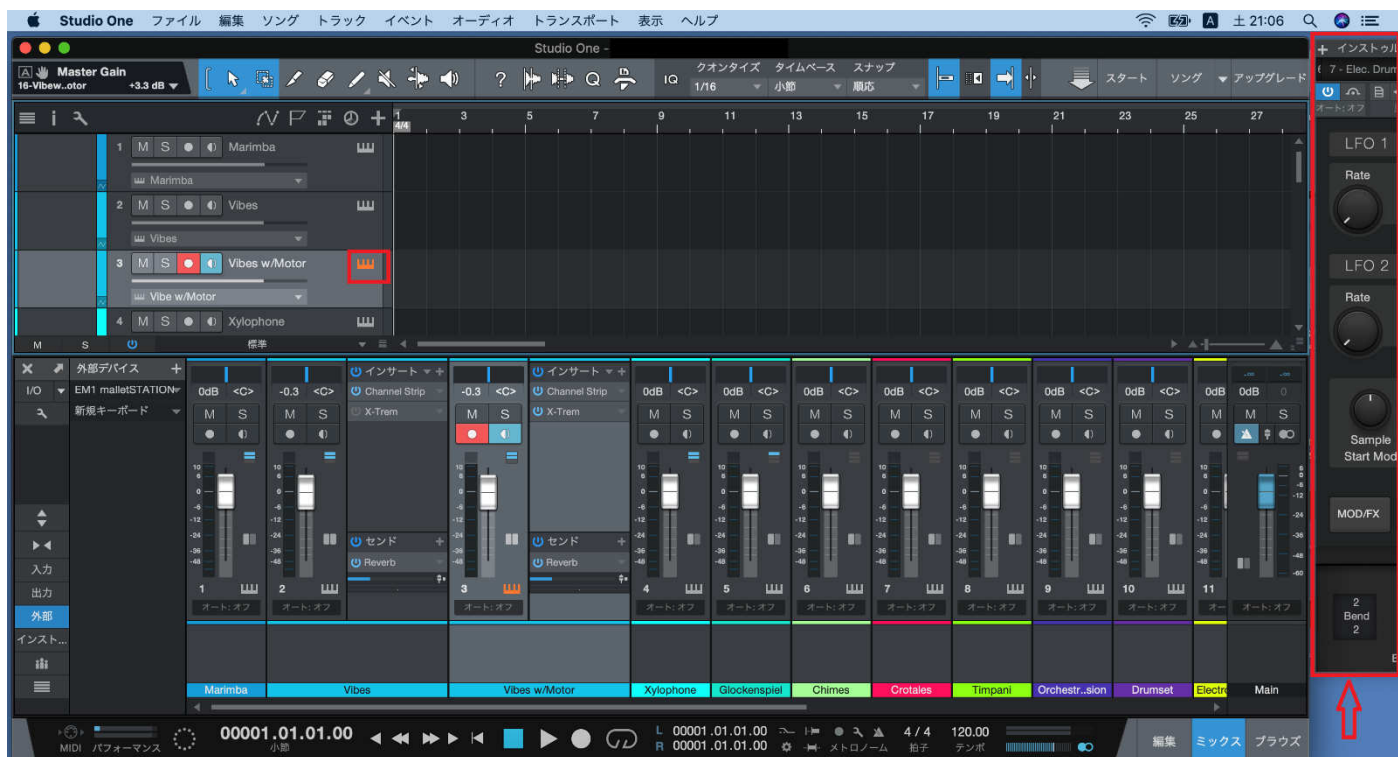
EM-1 の左フェーダーを触る(少し上下に動かす)と、自動的に

StudioOne の外部デバイス のノブが新規で作成されます (EM-1 のフェーダーを動かすと StudioOne の画面のノブも連動して動く)。

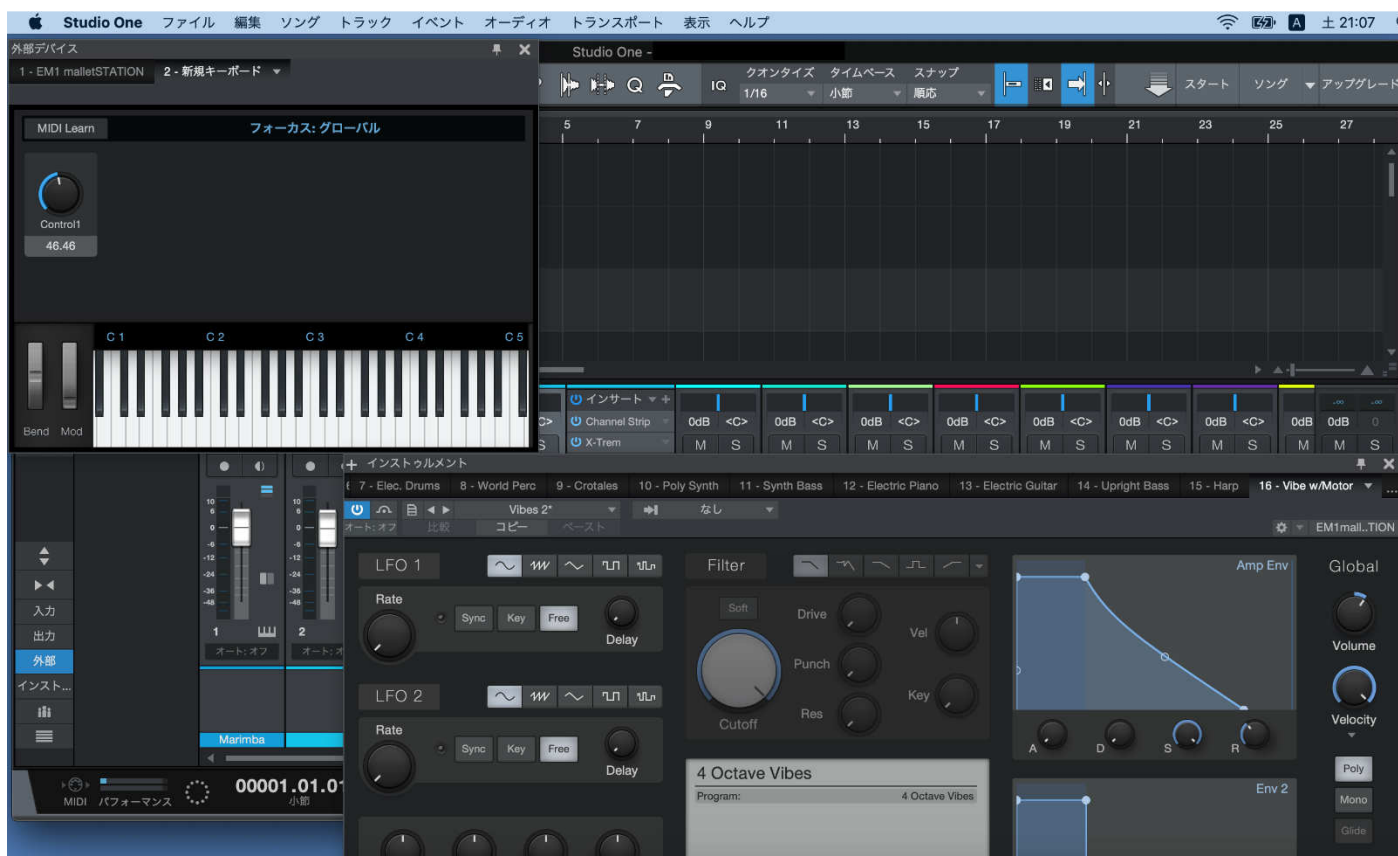


この EM-1 の左側のフェーダーに Vibe w/Motoe のボリュームを割り当てたいので、

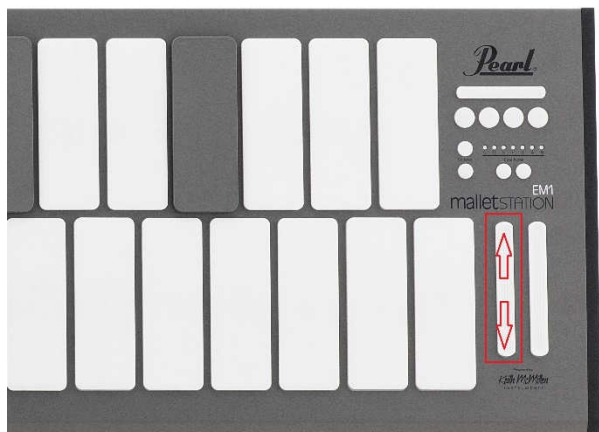
Studio One のメイン画面の「トラック」の「Vibe w/Motor」の右の鍵盤マークをクリック(下図)。(クリックするとオレンジ色に点灯) (赤囲み)



この時、音源のウインドウ(タイトルが「+インストール」で鍵盤が下にレイアウトされている大きめのウインドウ)が開きますが、その開いた場所が右の画面の端のギリギリの辺りに見えることがあるので、(上図の赤矢印部分)操作しやすいように中央の方へ移動させておきます。

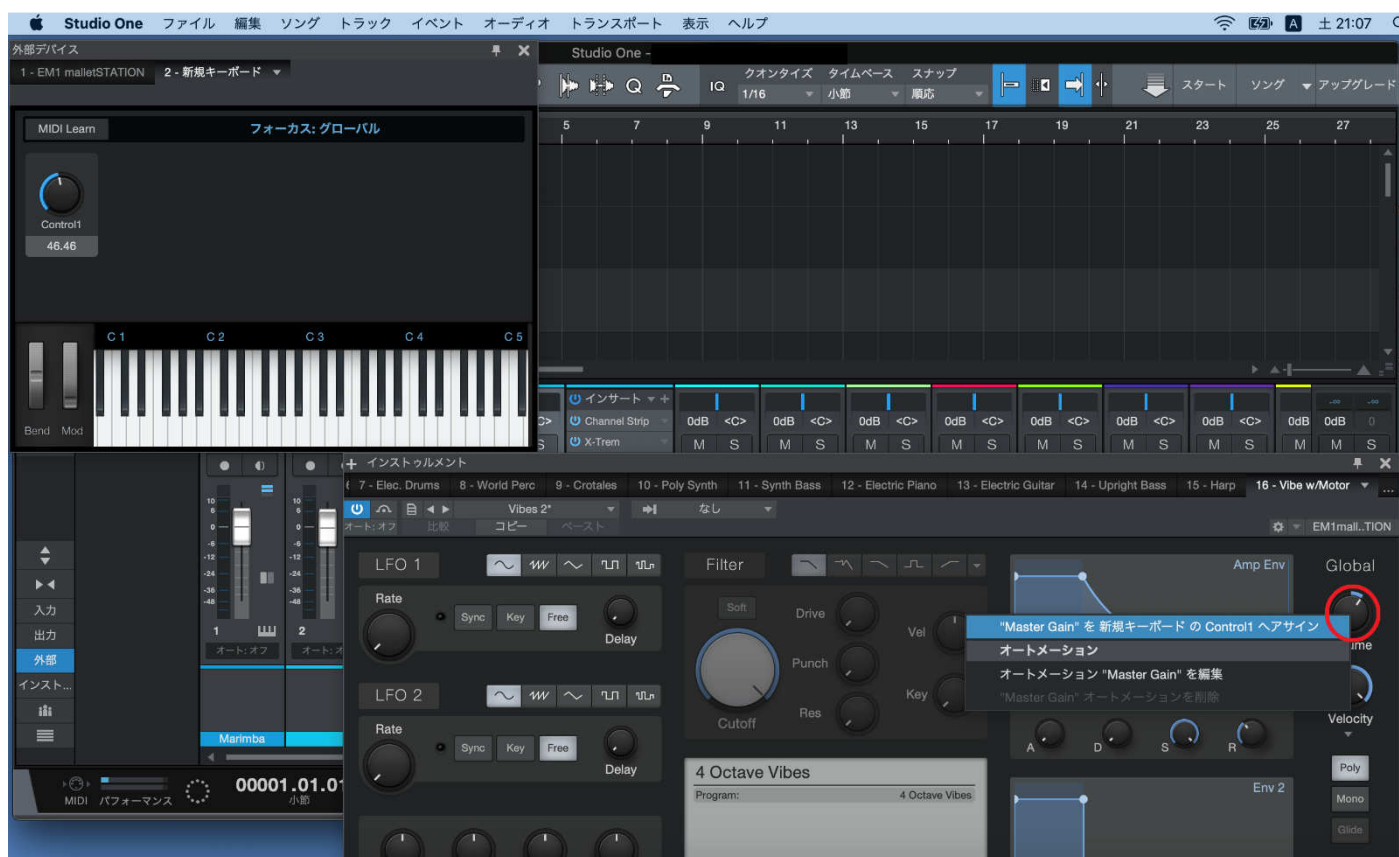


その状態で、念のため、



もう一度、EM-1 の左フェーダーを少し動かして、外部デバイスとして認識させ、

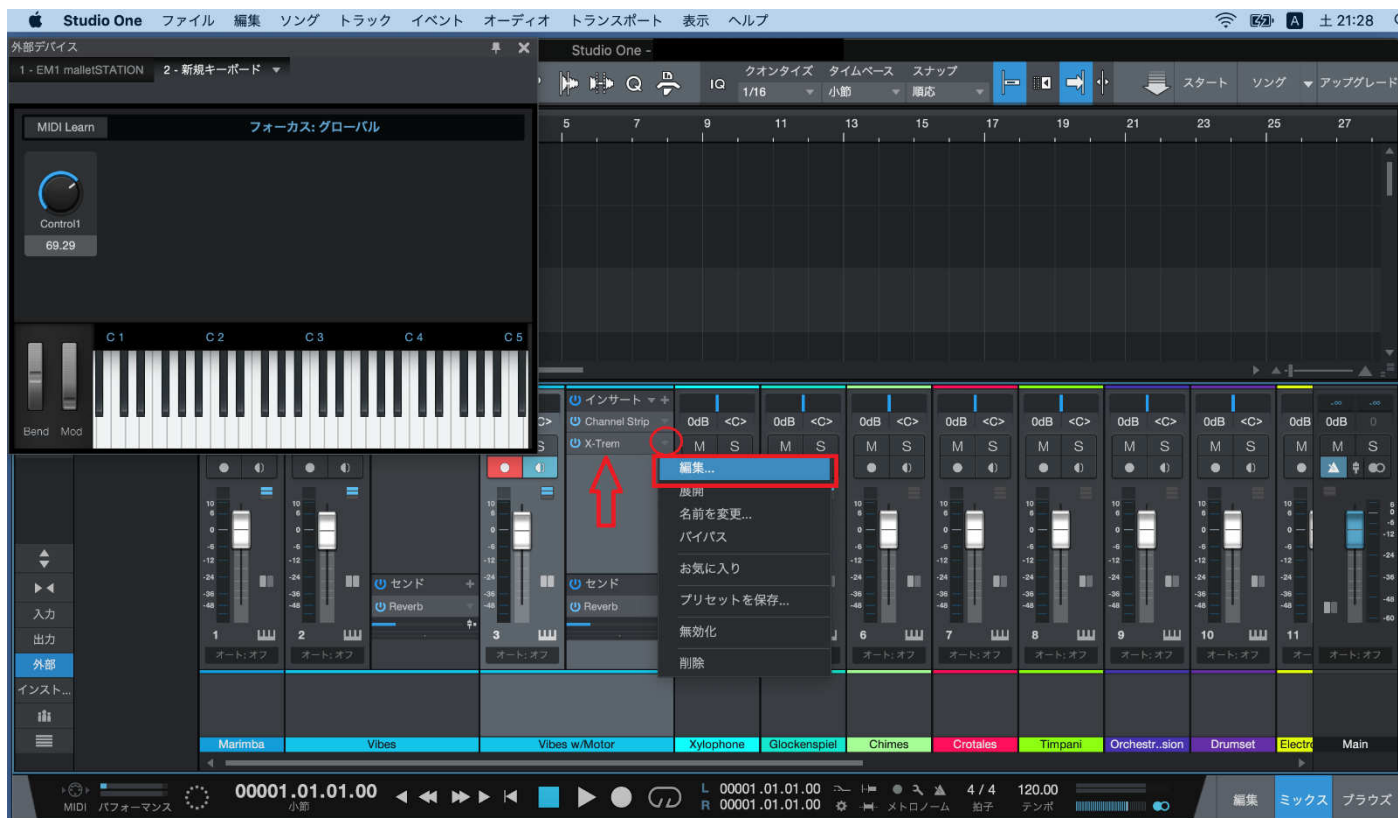
「Vibe w/Motor ウィンドウ(+インストールメント)」の右上にある 「Global-Volume」 を右クリック
すると「Master Gain」を新規キーボードの Control1 へアサイン」とメニューが出るのでそれをクリック



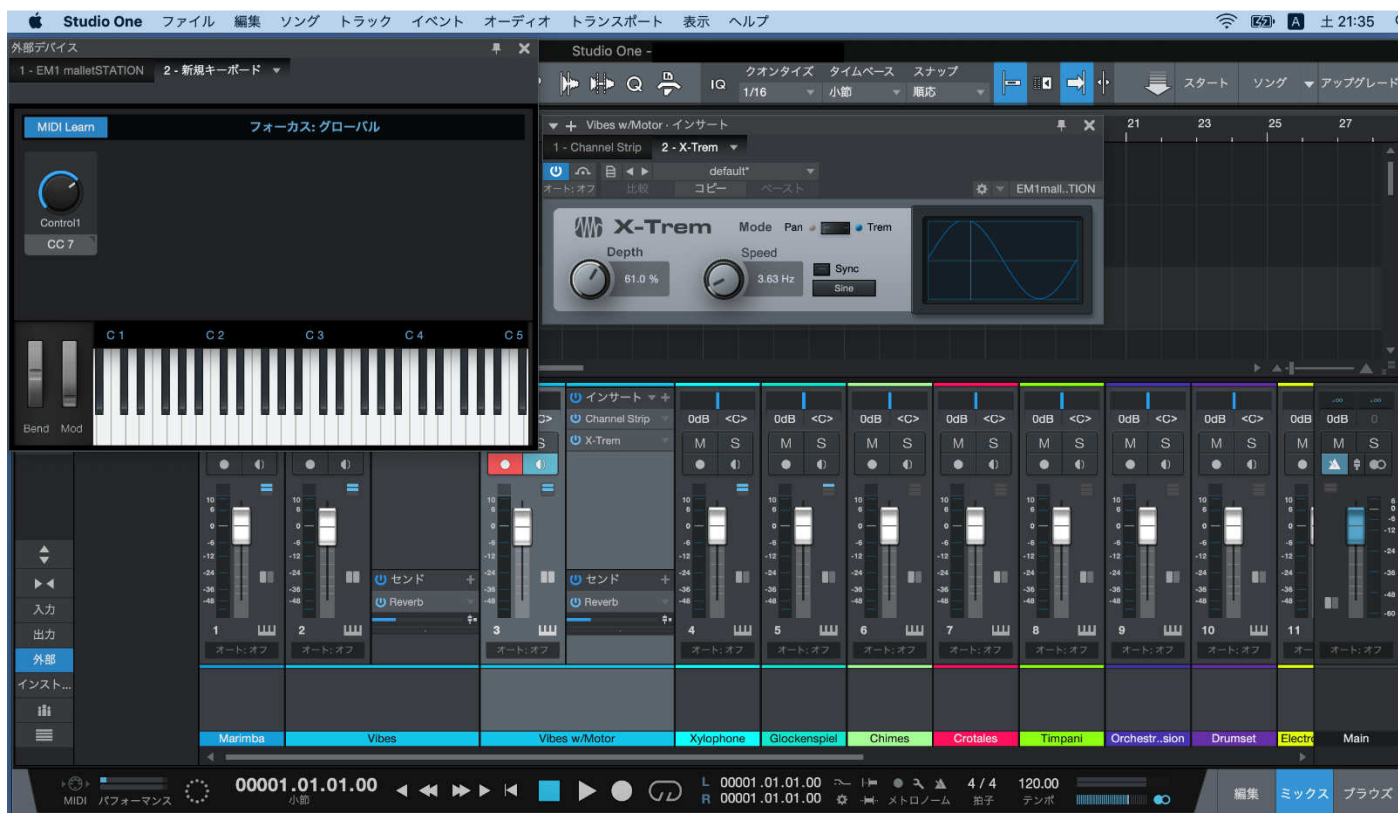
すると EM-1 の左フェーダーと外部デバイスウィンドウのボリューム (MasterGain) のコントロール(CC7)がリンクします。

フェーダーとノブの間で割り当てができたので、ここで一旦 「Vibe w/Motor のメインウィンドウ(+インストールメント)」は閉じます
「外部デバイス」のウィンドウは開いたままです。

次に メイン画面の下部の中央あたりにある、「Vibe w/Motor」 の「X-Trem」 の右▼をクリックし、メニュー一番上の「編集」をクリック。

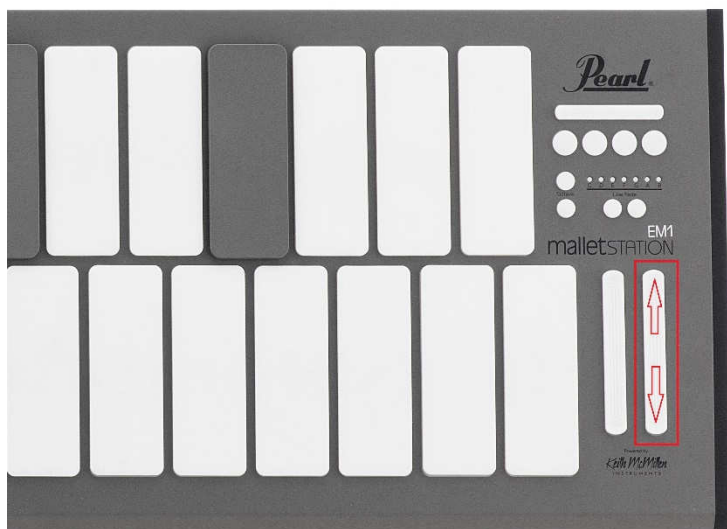


新たに「+Vibes w/Motor インサート」というウィンドウが開き、

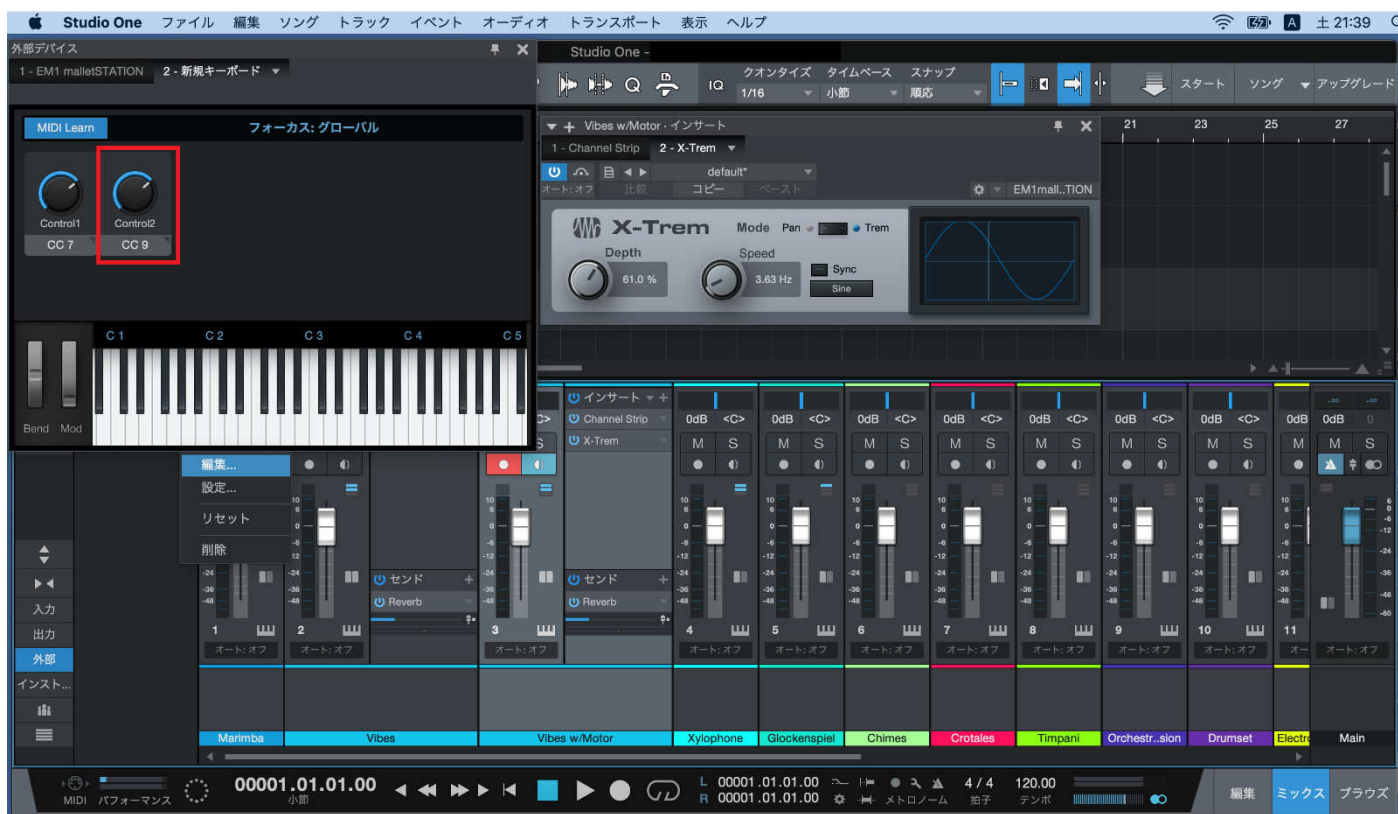


外部デバイスの「MIDI Learn」が青色に点灯していることを確認し、（青色でなければ、再度クリックして点灯）

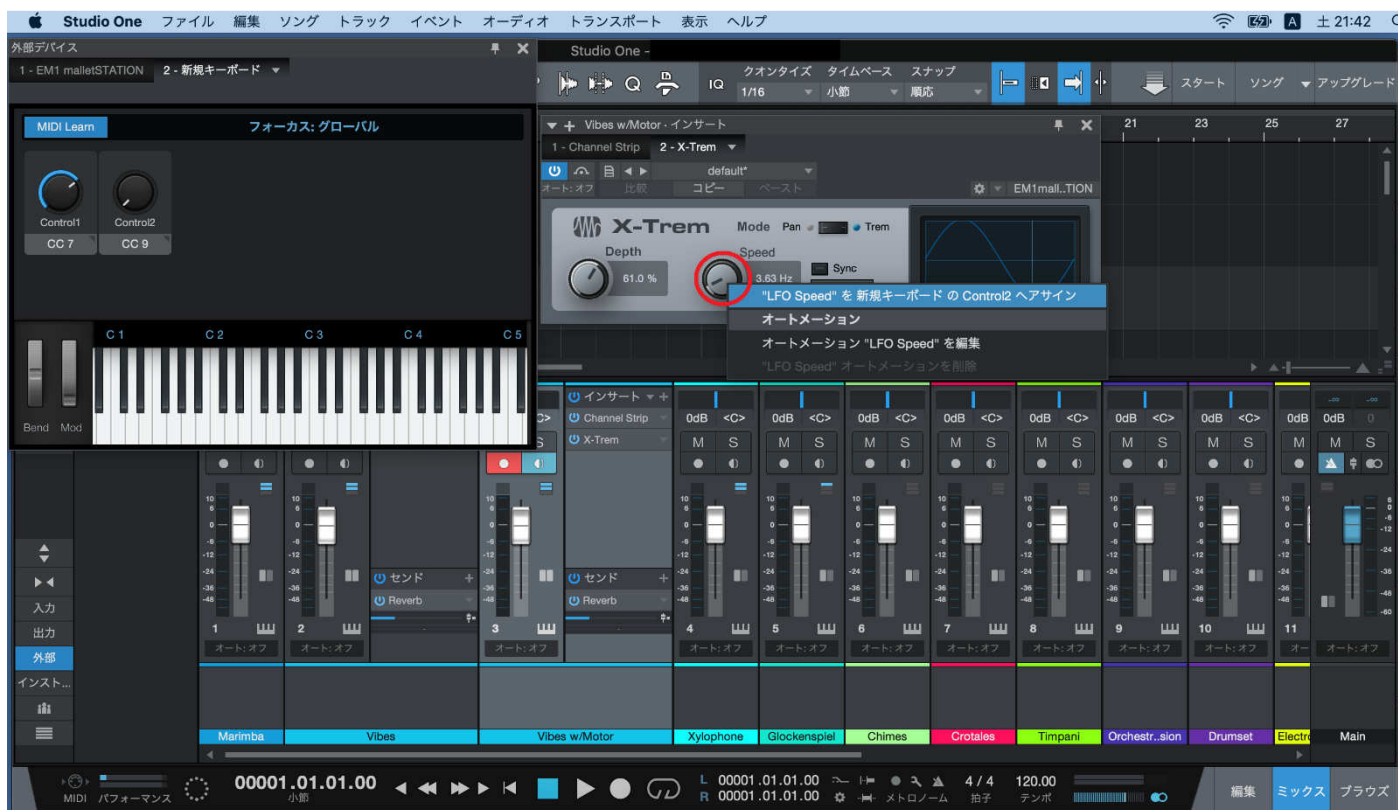
この状態で EM-1 の右フェーダーを触ると、



また新たに CC9 というノブが作成されるので



先ほどの「+Vibes w/Motor インサート」(X-Trem)の真ん中あたりの「Speed」のノブの上で右クリックするとメニューが出るので、



「LFO Speed を新規キーボードの Contrpl2 ヘアサイン」を選びます。

すると CC9 に「LFO Speed」が割り当てられ、

以上で CC 7 と CC9 にボリューム とトレモロスピードが割り当てられたので

「+Vibes w/Motor インサート」と「外部デバイス」ウインドウを閉じて設定は完了となります。

この状態で

EM-1 左フェーダー は Vibes w/Motor のボリューム

EM-1 右フェーダー は Vibes w/Motor の LFO スピード(トレモロの速さ)を変更できる、

「プリセット 1」(一番左のボタン)に設定されています。

ちなみに、プリセット 1 は電源を落とした後、ふたたび EM-1 を起動させた際に、毎回呼び出されるプリセットとなります。

【その他いくつかポイント】

トレモロの深さを変えたい場合は「+Vibes w/Motor インサート」の左下の「Depth」を調整してください。



ほかの音色では、このプリセットは無効となります。例: マリンバでは、プリセット 1 によって左フェーダーでボリューム調整はできません、など。

マリンバで設定を作りたい場合は、別のプリセットに、例えばリバーブの深さを変更できるよう別途設定する必要があります。